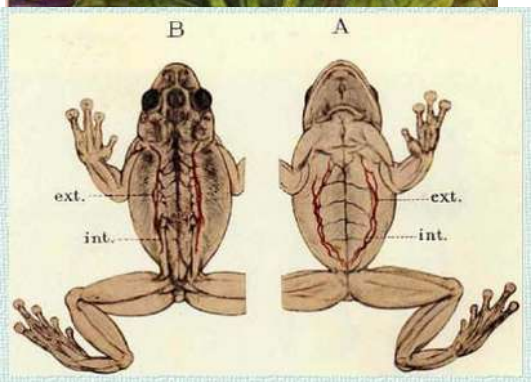
やぶなべ会報

自然を見つめる「やぶなべ会」(青森)発行

誌　　名	やぶなべ会報
号/発行年/頁	39 / 2018 / 36　(再編集版)
タイトル	和田干蔵先生と今純三画伯とモリアオガエル
著　者　名	室谷　洋司

自然を見つめる　やぶなべ会（青森）

和田干蔵先生と今純三画伯とモリアオガエル



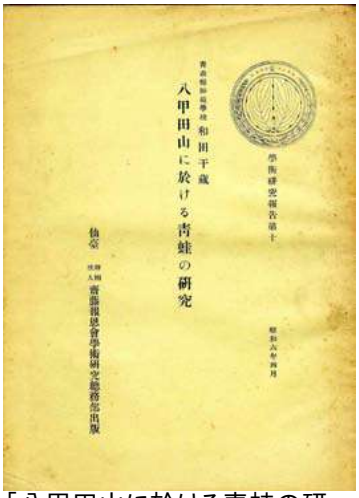
今純三画伯のモリアオガエル解剖図

和田干蔵先生のことについては巻頭座談会にプロフィールを紹介したが（5頁）、青森県が誇る銅版画家・今純三画伯とモリアオガエルを通じての繋がりがあった。

和田先生は「八甲田山に於ける青蛙の研究」（1931、写真下右）で知られているが、これは青森師範学校教官時代の業績であった。当時、師範学校には絵画担当教官として今純三画伯（1893～1944）がいた。言ってみれば同僚である。和田先生の業績の巻頭をモリアオガエル絵図（写真左）で飾ったのである。これは芸術性を加味した生態絵図。

さらにもう一枚、何と学術性豊かな解剖図（写真下左）も描いているのである。和田先生は弘前大学を退官してから青森短期大学教授となり、それまでの研究成果を「青森短期大学紀要」にまとめていた。筆者は、その都度、別刷を頂いたが、第２巻（1964）に掲載した論文にこの図を発見したのである。この２枚は今画伯の”作品”として珍種に属すものと思っている。

室谷洋司



「八甲田山に於ける青蛙の研究」(1931)